

平成27年度 事業報告書

大慈厚生事業会

1. <経営理念>

- ①時代の変遷にともない、福祉ニーズの変化を敏感に把握し、社会の人々のために、良質な福祉サービスを提供する。
- ②いつでも、どこでも、誰でもが必要な時に最善の福祉サービスを提供できるように日々研究努力する。
- ③All for One, One for All [全てが一人の為に、一人が全ての為に]

2. <基本方針>

- ・法人の設立方針である「和顔愛語・上敬下愛」に基づき、人権を尊重した運営をする。
- ・各施設の基本方針を尊重する。
- ・社会的に評価を得られるよう努める

3. <法人ヴィジョン>

- ①経営の強化
- ②サービスの質の向上
- ③教育システムの充実

4. <目標>

①経営の強化について

A) 新規事業の実施

平成27年4月1日 大慈保育園とも分園、特別養護老人ホーム大慈智音園開設。

B) 安定的な経営基盤の強化

介護報酬、運営費収入の改定、新規事業の充足率を踏まえ、経営の分析を行った。

②サービスの質の向上について

A) 大慈レジェンドの作成

レジェンドケースは27ケース応募があり、うち6ケースの発表を行った。日々の小さな気付きから、ゲストに我々ができることを考え、他職員の協力を得ながら実行できたことが、サービスの向上につながっている。職員の気付き→協力→実施という行動する力を根付かせ、職員のモチベーションアップをはかるためにも継続して行いたい。

③教育システムの充実について

A) 全職員の能力の向上及びチームの信頼関係の醸成

各施設ともにチームの信頼関係や能力向上に努めている。

レジェンドケースを発表したいという目的から、日々の気付きをピックアップし、目標を定め、職員同士一緒に目標に向かい実施することで、信頼関係が深まった。

B) 施設間交流及び全職員の視野を広げる

レジェンドケース発表会により他施設、他職種の交流を図るとともに、他施設の職員が得ている職場内の感動を共有することができた。また、他施設の概要や他施設の取り組み等の把握ができた。

5. 《行事等》

日付	行事等
5月21日	監事監査
5月26日	理事会・評議員会（事業報告・決算）
5月27日	資産登記
10月 7日	神戸市指導監査（ハーバー大慈）
10月 8日	神戸市指導監査（兵庫保育園）
10月14日	神戸市指導監査（大慈保育園・大慈ほまれ保育園）
10月21日	神戸市指導監査（大慈弥勒園・ケアハウス大慈）
10月22日	神戸市指導監査（大慈吉祥園・大慈智音園・法人）
11月26日	理事会（二次補正他）
12月8・11・15・22日	施設間交流会（レジェンド発表会）
2月25日	理事会・評議員会（事業計画・予算他）
3月25日	平成28年度入社式・辞令交付式

6. 《総評》

事業計画外で27年度中に神戸市立たちばな児童館の運営委託が決まり、28年4月より受託することとなった。今後は、経営の強化については、安定した経営ができるよう分析を重ねていきたい。また、職員から職員へ『ありがとう』という感謝のこころを伝えるという目的で、老人部門で作られた『職員オブ職員』は、感謝の気持ちを聞き感動している職員、その職員を見守る職員、それぞれのモチベーションアップにつながった。今後も全体でこのような取り組みが行えるように職員の意見を取り入れていきたい。

◎大慈厚生事業会総務部

1. 《基本方針》

大慈厚生事業会総務部は「E SがC Sにつながる」を基本方針に経営力強化・人事システム・情報システムの調整と修正および業務改善プロセスの促進を行う部門である。

2. 《目標》

①各施設との連携の構築

A) 拠点担当を作り、拠点毎で情報の共有方法を確立させる

必要な証憑、情報をまとめ、期日、連絡方法を確立できた。また、総務3名をケアハウス・大慈園・智音園とそれぞれ担当にしたことで、事務員へのこれまでの指導及び引継ぎに不十分であった点について話し合い、個々の能力に合わせた指導を行えた。

②人材確保、集客、広報活動を効果的に行う

A) 入退職者の入退職に至った経緯の分析

入職者の入職に至る経緯はできなかった。退職者については行った。1年に49名の退職者のうち、約60%（30名）が1年未満の退職。1年未満の退職者のうち、約76%（23名）が3ヶ月以内の退職であった。特に介護未経験の方が多くみられた。

B) 近隣施設の給与体系の分析

チラシ・HPより近隣の情報を収集し、給与と労働時間・休日について調べたが、細部に至る分析は掲載された情報では不足であったため、次年度に持ち越したい。

C) 新人育成計画の作成・実施、助成金を利用し、ヘルパー資格取得を目指す

初任者研修・実務者研修終了資格取得に向けた取り組みをパターン化し、各施設へ説明、助成金を使用したプランの提案を行った。27年度は県補助金で実務者研修終了者1名、キャリアアップ助成金にて初任者研修終了者4名の合計5名が資格を取得するに至った。また、28年度の計画を1月に作成。今後、スムーズに運用ができるよう進めていきたい。

③経営分析

A) 大規模修繕計画の作成

大規模修繕計画の作成は行えなかった。

B) 2015年介護報酬改定の影響と見通しを推測する。

改定後、交付金額と分配予定額の算出、施設毎の1年間の施設の見通しを推測した。下半期は智音園の充足率を踏まえ、返済計画の見直しを行った。

3. <会議・役員会・研修会など事業>

◎会議等

名称	内容	計画	詳細(実績・時期)
正副施設長会議	理事長、総合施設長以下、各施設長および副施設長が、法人内の課題や理事会運営などを協議した。	毎月1回	年12回開催 4/13、5/13、6/15、7/14、8/7、9/25、10/26、11/9、12/17、1/21、2/12、3/11
会計会議	各部経理の矛盾点、予算執行状況などを確認するため、会計会議を実施した。	毎月1回	年10回開催 (内9月の2回外部監査) 5/12、6/29、7/30、8/27、9/18、9/30、11/13、12/10、1/25、2/15
予算会議	各事業所の計画に沿った費用が計上されているか、また不具合等で今後必要となる費用について確認をするため実施。	年3回	年3回開催 8/7、11/5、1/22
事務・総務部会	事務の効率化及び、システム化を図り、各部の情報を共有するために事務総務部会を開催した。	毎月1回	年9回開催 5/12、6/1、7/1、8/4、11/5、12/1・1/22・2/15・3/18

◎役員会

名称	内容	計画	詳細(実績・時期)
第1回理事会 評議員会	議案 第1号議案 平成26年度 事業報告の件 第2号議案 平成26年度 決算報告の件 第3号議案 施設長選任の件 第4号議案 基本財産追加・定款変更の件 第5号議案 規程変更の件 他 報告事項 監事監査報告など	5月	5/26 あすてっぷKOBE セミナー室 出席者 理事 6名 評議員 11名

<p>第2回理事会 評議員会</p>	<p>議 案 第1号議案 補正予算の件 第2号議案 規程変更・制定の件 第3号議案 幼保連携型認定こども園移行の件 報告事項 虐待経過報告・新規事業委託の件など</p>	<p>11月</p>	<p>11/26 あすてっぷ KOBE セミナー室3 出席者 理 事 6名 評議員10名</p>
<p>第3回理事会 評議員会</p>	<p>議 案 第1号議案 補正予算の件 第2号議案 平成28年度事業計画の件 第3号議案 平成28年度予算の件 第4号議案 定款変更の件 第5号議案 大慈ほまれ保育園 幼保連携型認定こども園移行による事業廃止と名称変更の件 他 報告事項 虐待報告、懲罰委員会報告など</p>	<p>2月</p>	<p>2/26 神戸市産業振興センター902号室 出席者 理 事 5名 評議員10名</p>

4. 《総評》

目標に対し、十分に達成ができたものと、全くできていないものがあり、力不足であった。今年度より会計業務を総務で行う事としたため、事務員の個々の能力・理解度を知り、指導を行ったことで、後半会計業務自体はスムーズに行なうことができた。

また、資格取得支援制度の基礎作りとその運用ができたことは、次年度以降につながる良いものとなった。大規模修繕、経営分析においては次年度に達成できるよう努める。